

台風は、事前に備えることのできる災害です。

テレビ・ラジオなど防災情報を活用し

早めの準備で台風に備えましょう！

●家の周りの確認

- 物干し竿は外して、固定しましょう。
- 物干し台は倒しておきましょう。
- 植木鉢は家の中にしまいましょう。
- アンテナはしっかり固定しましょう。
- 家の周りの飛びそうなものは、固定するか家の中に片付けましょう。
- 側溝が詰まらないよう、普段から落葉・ゴミなどを片付けておきましょう。

●食料の確保をしましょう。

- 火や水を使わずに食べられるものを用意しましょう。
- 水や飲み物を用意しましょう。

●その他

- 雨戸を閉めましょう。
- カーテンを閉めましょう。
- 携帯電話を充電しておきましょう。
- 懐中電灯などの点灯を確認しておきましょう。
- ラジオに電池を入れておきましょう。
- 天候が変わる前に必要なものの買い出しをすませましょう。
- お隣やご近所の方と声を掛け合い、助け合いましょう。



防災情報は防災行政無線と防災ラジオで確認を！

防災ラジオは1台1,000円で危機管理室で販売しています。

防災行政無線が聞こえなかったら

防災行政無線自動応答ダイヤルへ **0479-24-8206**

※放送から24時間以内の防災行政無線を電話で聞くことができます。

「防災ちょうし」の登録はお済ですか？

防災行政無線の内容をメール配信しています。

※サービスの利用は無料ですが、通信費用（パケット代金など）は利用者の負担となります。

こちらのQRコードからの登録が便利です。



<http://www.city.choshi.chiba.jp/bousai/>

高めよう！防災への意識

自分や家族の命を守る！

家具の転倒・落下を防ぐ

室内にいるときに大地震が発生した場合、大きな家具が倒れたり、ガラスが割れたりしてけがをする恐れがあります。

また、倒れた家具が出入口をふさぐなど、避難が難しくなることもあります。

火災の発生を防ぐ

全ての住宅に住宅用火災報知器の設置が義務付けられています。必ず設置し、定期的に点検しましょう。

また、地震の揺れを感知して自動的に電気を止める「感震ブレーカー」は、大規模な地震発生時の火災防止に有効です。

「少し多め」の買い置きで無理なく備蓄
大規模災害時、支援物資がすぐに届くとは限りません。食料品や日用品の買い置きを少し増やし、最低3日分、できれば1週間分の備蓄をしましょう。

ローリングストック法で上手に備蓄。
日常の生活の中で、備蓄品を使う。

- ① 古いものから使う。
- ② 使ったものは必ず補充する

その他

家具転倒防止器具取り付け費助成
高齢者・障害者世帯に助成があります。
詳しくは

障害支援室 24-8968

高齢者福祉課 24-8754 まで。

●備蓄品（例）

- 飲用水（目安は1人1日2～3ℓ）
- 食料品（缶詰など）
- 常備薬（普段医師より処方されている薬やお薬手帳なども）
- 簡易トイレ
- トイレットペーパー
- モバイルバッテリー（携帯型充電器）
- 携帯型ラジオ

- 懐中電灯
- 電池など

●家族構成に合わせた備蓄

- おむつ
- 生理用品
- 介護用品
- 粉ミルク・液体ミルクなど

